



出展企業様

- (株) アクシビジョン
- (株) アスデザイン
- (株) イーパス
- (株) 育伸社
- (株) インパクト
- (株) ウイングネット
- 市進グループ
- (株) 学びソリューションズ
- (株) えいすう総研
- (株) EVAN
- (株) エジソンクラブ
- (株) SRJ
- (株) エデュケーショナルネットワーク
- (株) 学書
- (株) 学研エデュケーショナル
- (株) アーデック
- 吉備学習システム販売 (株)
- 教育開発出版 (株)
- (株) グロウバレー
- (株) クロノクリエイト
- (株) 好学出版
- (株) 理究 ことばの学校事務局
- (株) シルヴァンブリーズ
- 筆っこ美文字キッズ教室
- (株) ノアング
- (株) ブロードリンク
- (株) ペネッセコーポレーション
- こども英語教室
- (株) マナボ
- (一社) 未来民間教育
- (株) ユーデック



終日賑わいを見せた展示ブース

2020年大学入試改革 変化をチャンスに！ 今塾がやるべきこと

eisu group 最高執行責任者 (COO)
eisu 高校部最高執行責任者 (COO)

伊藤奈緒氏



2020年の大学入試改革は、実際の塾運営、経営にダイレクトに影響するだろうという。高等学校基礎学力テスト(仮称)は高校2年の半ばからになるので、これにより入試のスケジュールが前倒しになる。また大学入学希望者学力評価

太刀打ちできるテストではなかったはず。ですから早期から、できれば幼少の頃から取り組みが必要になってきます」と伊藤氏は語る。リリースされた数学の作問は多くの情報量から成っていて、多くの日本語を数式に変

換していく。今の大学入試や高校入試は与えられた情報は全て使うことが裏メッセージだったが、この作問では使われない情報も出てくるという。そしてこうした問題は中学受験とよく似ていること。

「公立中高・貫校は首都圏ではこの10年で11校もつくられていきます。三重、岐阜、愛知などでも公立中高・貫校が出てくれば変わってくると思います。うちだけが言っているのではなく、地域の大手塾が啓蒙し続けることによって市場が変わっていくと思います。私たちが市場をつくっていく。

いてみよつ」と思つという。読書に関しても、とにかく文字を嫌がらないようにすること。9〜10歳までは本から

知識を得ようとするのではなく、長い文章が読める土台をつくるのが大切だ。そうすると、本人がやがてなりた

ものが見つかったとき、自分で長文を書いたり、長文を読んで調べたりする能力が身についている。「そして表現する

ことを待つこと。引込み思案でもいいのです。自分独自の表現力を持つていけば、引込み思案を活用してプレゼン

することだってできますから心配いりません。でもそれを潰してはいけないということですよ」。

名古屋会場

テスト(仮称)について、「文科省からイメージ問題がリリースされたことがありましたが、相当難しいですね。それこそ付け焼き刃的な詰め込み、積み重ねだけの受験準備では到底

「公立中高・貫校は首都圏ではこの10年で11校もつくられていきます。三重、岐阜、愛知などでも公立中高・貫校が出てくれば変わってくると思います。うちだけが言っているのではなく、地域の大手塾が啓蒙し続けることによ

お客さんを先導していく。三重、岐阜、愛知だけではなく全国の都道府県が同じ方向を向いて、ベクトルを合わせて発信していく必要があると思います。塾の仕事は「人ありき」。講師の商品力に尽きることも言える。だからそういう商品価値の高い講師たちに来てもらわないことには、様々な取り組みを考え、実践、実行したところで、中途半端なものに終わってしまうだろう。業界全体で魅力ある業界にしていかなければならないのだ。